


## 令和5年度 議会事務局 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
議会事務局長 大原 克友	<p>●使命 議会事務局は、議会運営・議会活動・政策立案機能の支援や議会と執行機関との調整、議会と市民との媒介といった役割を担うとともに、議会の情報を様々な媒体を活用して、市民に対して迅速で正確、そして分かりやすく伝えていくことが私たちの使命です。</p> <p>●基本方針</p> <p>①議事機関である議会の運営に関し、議員に質の高い職務環境を提供することによって、市民に良質な行政サービスの提供がなされるよう議員の議会活動を支援します。</p> <p>②ホームページや議会だより、議会ネット配信システム等により、議会活動情報等を積極的に公開し、「市民が身近に感じることのできる議会」「開かれた議会」を推進します。</p> <p>③円滑で秩序ある議会運営のために、事務局機能の充実・強化を図り、議会からの要請などの確に対応できる体制づくりに努めます。</p>	所管課	議会事務局		
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	合計
			4人	1人	5人
		一般会計	181,363 千円		
		特別会計	千円		
		計	181,363 千円		
(うち人件費)	( 37,909 千円)				

重点項目	内容	成果目標	進捗状況 (1月末)
1	<p>円滑で効率的な議会運営や政策立案等の様々な議会活動の支援</p> <p>調査機能や法務機能の充実を図り、議会運営、議会活動を支援します。</p> <p>また、円滑で効率的な議会運営に向けて一層の ICT 化を進めます。</p>	<p>適切な情報提供を適時に行えるよう、調査情報、政策部門を充実強化します。</p> <p>また、非常時に対応できるよう委員会のオンライン開催についての研究を進めます。</p>	<p>議会定例会(6月、8月、11月)、各常任委員会及び特別委員会等が開催され、随時必要な情報を提供することで円滑な運営ができました。</p> <p>委員会のオンライン開催については、他市の状況、開催に必要な例規の整備等の調査、研究を進めているところです。</p>

重点項目		内容	成果目標	進捗状況（1月末）
2	議会活動の紹介	市民の議会への関心と理解を高め、市民の議会への関心と理解を高め、議会だよりやホームページ等の内容の充実、改善に取り組み、議会の情報を分かりやすく的確に発信します。	議会だより（年4回、市内全世帯配布）発行の編集補助をするとともに、議会ホームページを適時更新します。また、議会報告会の開催に向けた支援を行います。	議会だよりは、定例会ごとに発行できており、現在は2月1日発行の11月定例会の内容を記載した77号が完成したところです。また、議会ホームページも適時更新を行っています。議会報告会については、2月10日の開催に向けて調整委員会、班会議で協議をし、準備を進めています。
3	市民に分かりやすく開かれた議会への取組の支援	議会ネット配信システム（ライブ中継及び録画配信）をご覧いただくための呼びかけをホームページ等で積極的に行います。また、議会傍聴の周知を図り、市民にとって身近な議会を目指します。	スムーズなインターネット配信（ライブ中継及び録画配信）を行うとともに、様々な媒体を通じて議会情報を発信し、議会傍聴者、インターネット閲覧者など議会と市民をつなぐ場への参加者の増加を目指します。	定例会及び議場で行う委員会のインターネット中継については概ね順調に配信することができています。（1月末アクセス数 ライブ中継：5,206件、録画中継：1,712件）
4	事務局職員の能力の向上	コロナ禍で実施を控えていた視察等の対応スキルが低下している状況です。また、同様にコロナの影響で研修への参加も十分できていないことからOJTや研修参加により職員の能力向上を図ります。	研修センター、市町村アカデミーなどが開催する各種研修会（オンライン受講含む）への積極的参加や、実践での業務知識の習得により事務局職員のスキルアップを図ります。	岡山県市議会議長会主催の事務局職員研修に続き、西日本議会職員研修、日本速記協会研修等へ職員が参加することにより、知識の習得や他の自治体職員との意見交換を行うことができました。また、オンラインでの研修にも参加し、事務局職員としてのスキルアップを図ることができています。